諏訪中央病院初期臨床研修プログラム

1　プログラムの名称

諏訪中央病院　初期臨床研修プログラム

2　研修目標

（1）諏訪中央病院臨床研修の理念

八ヶ岳の裾野のように幅広い臨床力をもつ医師を育てる。

（2）初期研修の基本方針

1. 医師としての基本的臨床能力を身につける。
2. 高い倫理観と責任をもって、プライマリ・ケア、全人的医療を実践する。
3. 身体的、精神的苦痛を共感できる柔らかな感性を持ち、患者さんとのよりよい信頼関係を築く。
4. 他の医師やコメディカルとのチーム医療を実践する。
5. 介護、福祉との連携を学び、地域医療を体得する。
6. 仲間を思いやる気持ちを育む。

3　プログラムの目的と特徴

諏訪中央病院初期臨床研修の目的は、医師としての基本的姿勢を確立し、プライマリ・ケアのための診療能力を身につけることである。

1. 諏訪中央病院の歴史と地域における役割を理解する。
2. 病歴聴取、身体診察、プレゼンテーション、症例検討などの基本的臨床能力を身につける。
3. プライマリ・ケアに必要な基本的臨床手技を身につける。
4. 救急医療や感染症診療など、臨床医として必要な横断的分野の診療を学ぶ。
5. 病院独自の総合診療方式により、幅広い臨床力を身につける。

4　プログラム責任者

プログラム責任者　　蓑田　正祐（内科系診療部長補佐兼リウマチ・膠原病内科部長兼経営戦略室副室長）

5　臨床研修病院群と指導責任者

（1）臨床研修病院群

基幹型臨床研修病院	諏訪中央病院	
協力型臨床研修病院	精神科・産婦人科・救急部	諏訪赤十字病院
	精神科	医療法人和心会 松南病院
	麻酔科・救急	東京医科大学八王子医療センター
臨床研修協力施設	地域医療・保健・医療行政	介護老人保健施設「やすらぎの丘」
		介護老人福祉施設「ふれあいの里」
		諏訪中央病院組合国民健康保険診療所「リバーサイドクリニック」
		原村国民健康保険直営診療所
		諏訪保健福祉事務所
		茅野市西部保健福祉サービスセンター

（2）指導責任者

（令和６年４月１日現在）

病院・施設名	診療科	指導責任者	役職・職名
諏訪中央病院	内科	佐藤泰吾	院長
	整形外科	白澤進一	副院長兼整形外科部長
	内科	齋藤穣	内科系診療部長兼総合診療科部長
	救急科	齋藤穣	救急科医師
	外科	高安甲平	部長
	麻酔科	石丸美都彦	部長
	小児科	佐藤広樹	副院長兼医療安全管理部長兼小児科部長
諏訪赤十字病院	精神科	丸山史	部長兼院長補佐
	産婦人科	高木靖	部長兼院長補佐
	救急部	野首元成	部長
松南病院	精神科	宮坂義男	院長
東京医科大学八王子医療センター	麻酔科	富野美紀子	臨床講師
	救急部	弦切純也	准教授
諏訪中央病院組合国民健康保険診療所「リバーサイドクリニック」		川井隆弘	所長
茅野市保健福祉サービスセンター		長田香織	センター長
原村国民健康保険直営診療所		濵口實	所長
長野県諏訪保健福祉事務所		三沢あき子	所長
介護老人保健施設「やすらぎの丘」		前原学	施設長
介護老人福祉施設「ふれあいの里」		吉澤徹	施設長

６　教育課程

（1）研修方式

研修目標を達成するため、内科、外科、小児科、産婦人科、精神科、救急及び地域医療を必修分野として、一般外来研修を含める。必修分野に加え諏訪中央病院独自の必修分野として、麻酔科、整形外科を組み込んだ総合診療方式（スーパーローテート方式）とする。初期研修医の将来設計に応じた選択科目もカリキュラムに取り入れる。

（2）２年間の初期臨床研修カリキュラム概要

<table>
<tr><td rowspan="4">２年間</td><td colspan="4">内科　(32 週)</td><td colspan="2">小児科(8 週)</td><td>救急(8 週)</td></tr>
<tr><td colspan="7">２年間の研修期間内に内科、小児科、地域医療研修時一般外来研修を行う。内科、小児科研修中に週半日の並行研修を行う。</td><td>１年目に４週、２年目に４週行う。</td></tr>
<tr><td>外科(8 週)</td><td>麻酔科(8 週)
（4 週は救急研修とする）</td><td>産婦人科(4 週)</td><td>整形外科(8 週)</td><td rowspan="2">精神科
(4 週)</td><td>地域医療
(5 週)</td><td colspan="2">選択研修(12 週)</td></tr>
<tr><td colspan="4">２年間の研修期間内に集中救急研修 12 週(ブロック:8 週、麻酔科:４週)を行う。他内科、小児科、精神科、地域医療研修以外の各科研修中に、週半日の救急外来研修を行う。</td><td>一般外来研修</td><td colspan="2">救急研修及び一般外来研修</td></tr>
</table>

➢　内科３２週、小児科８週、救急１２週、外科８週、麻酔科８週、産婦人科４週、整形外科８週、精神科４

週、地域医療５週を必修分野とする。

- 内科研修は総合診療科、内科系診療科より選択する。
- 救急研修は当院の診療体制、効果的な救急研修を勘案し、2 年間の研修期間に継続的に救急外来研修を行う。1 年目 4 月～6 月に導入研修、7 月に救急オリエンテーションを行う。2 年間の研修期間内に、救急ブロック研修８週（1 年目：4 週、2 年目：4 週）、麻酔科研修８週のうち４週の救急研修を行う。他、内科、小児科、精神科、地域医療、研修以外の各科研修中に、週半日の救急外来研修を行う。
- 一般外来研修は内科、小児科、地域医療研修中に週半日の一般外来研修を行う。選択科研修中も同様とする。
- 地域医療研修は臨床研修協力施設であるリバーサイドクリニック、原村診療所で行い、在宅診療にも従事する。５週のうち２日程度、長野県諏訪保健福祉事務所等にて行う。
- 選択研修は必修分野のほか、脳神経外科、皮膚科、耳鼻咽喉科、東洋医学科、放射線科、病理診断科から選択する。必修の不足期間として調整することも可能。

（3）時間割

1 年目 52 週、2 年目 52 週の 104 週とする。ただし、5 月のゴールデンウィーク、年末年始にかかる診療科は１週多くする。また、休暇３週（1 年目：1 週、2 年目：2 週）を確保する。

（4）指導体制

研修医１名につき指導医数名がつく。必要に応じて専門医の指導を受ける。最終的にはローテートする科の責任者が総括・指導する。

7　プログラム修了後のコース

研修医本人と臨床研修管理委員会で相談する。諏訪中央病院専門研修に進めるほか、関連大学・病院への紹介も行う。